

平成28年4月

項目番号に*印を付しているものを新たに公表

*印の無いものは平成27年3月までに公表済み

平成29年度及び平成30年度広島大学入試の主な変更点（概要）

『AO入試・一般入試・私費外国人留学生入試・学部第3年次編入学試験』

【平成29年度入試】

1. 広島大学入試は紙の願書を廃止し、インターネットでのみ出願受付します（学部1年次のすべての入試）。
詳細は本学のホームページ「広島大学入試情報」<http://hiroshima-u.jp/nyushi/> をご覧ください。
- 2*. 国際バカロレアを利用するAO入試（対象別評価方式）を新たに導入します。実施する学部学科等と募集人員は次のとおりです。

| 学部 | 学科・類（系）コース・専攻 | | 募集人員 |
|--------|------------------------|---------|------|
| 文学部 | 人文学科 | | 若干名 |
| 教育学部 | 第二類（科学文化教育系）技術・情報系コース | | 若干名 |
| | 第三類（言語文化教育系）日本語教育系コース | | 若干名 |
| | 第四類（生涯活動教育系）健康スポーツ系コース | | 若干名 |
| | 第四類（生涯活動教育系）音楽文化系コース | | 若干名 |
| 法学部 | 法学科 | 昼間コース | 若干名 |
| | | 夜間主コース | 若干名 |
| 経済学部 | 経済学科 | 昼間コース | 若干名 |
| 理学部 | 数学科 | | 若干名 |
| | 物理学科 | | 若干名 |
| 医学部 | 保健学科 | 看護学専攻 | 若干名 |
| | | 理学療法学専攻 | 若干名 |
| | | 作業療法学専攻 | 若干名 |
| 歯学部 | 口腔健康科学科 | 歯学科 | 若干名 |
| | | 口腔保健学専攻 | 若干名 |
| | | 口腔工学専攻 | 若干名 |
| 薬学部 | 薬学科 | | 若干名 |
| | 薬科薬学 | | 若干名 |
| 工学部 | 第一類（機械システム工学系） | | 若干名 |
| | 第二類（電気・電子・システム・情報系） | | 若干名 |
| | 第三類（化学・バイオ・プロセス系） | | 若干名 |
| | 第四類（建設・環境系） | | 若干名 |
| 生物生産学部 | 生物生産学 | | 若干名 |

※ 出願資格、選抜方法等の詳細は6月に公表する「AO入試学生募集要項(Web掲載のみ)」で確認してください。

- 3*. 私費外国人留学生入試について、次のように変更します（大学入試センター試験の利用廃止）。

<変更前>

「日本留学試験及びTOEFL®テスト又はTOEIC®テスト」又は「大学入試センター試験」のいずれかの成績と本学が行う個別学力検査等及び書類審査の結果を総合して選考します。

<変更後>

「日本留学試験」及び「TOEFL®テスト又はTOEIC®テスト」の成績と本学が行う個別学力検査等及び書類審査の結果を総合して選考します。

4* 英語外部検定試験を利用するAO入試をすべての学部で導入します。実施する募集単位は次のとおりです。

AO入試（総合評価方式）では、英語外部検定試験を受検している場合、下記の基準・方法で受験することが可能です。
 なお、英語外部検定試験を受検していない場合でも、受験することは可能です（医学部保健学科の大学院進学型を除く）。

■出願資格を与える方法

| 学部 | 学科 | 専攻 | 受験区分 | 募集人員 | 利用方法 | 利用に必要な 適用区分 |
|-----|------|---------|--------|-----------|-----------|----------------|
| 医学部 | 保健学科 | 看護学専攻 | 大学院進学型 | 一般型と合わせて5 | 出願資格として利用 | B1以上 |
| | | 理学療法学専攻 | | 3 | | |
| | | 作業療法学専攻 | | 4 | | |

■加点する方法

| 学部 | 学科・類等 | 利用方法 |
|--------|------------------------------|--|
| 教育学部 | 第三類 (言語文化教育系) 英語文化系コース | 最終選考において、下表の基準に基づいて加点する。複数の英語外部検定試験を受検している場合は、適用区分の最も高い1項目のみを加点対象とする。 ※加点の適用区分：C2：60点 C1：40点 B2：20点 |
| 経済学部 | 経済学科 昼間コース 夜間主コース | 選考において、下表の基準に基づいて加点する。複数の英語外部検定試験を受検している場合は、適用区分の最も高い1項目のみを加点対象とする。 ※加点の適用区分：C2：15点 C1：11点 B2：7点 B1：3点 |
| 歯学部 | 歯学科 口腔健康科学科 | 第1次選考において、下表の基準に基づいて加点する。複数の英語外部検定試験を受検している場合は、適用区分の最も高い1項目のみを加点対象とする。 ※加点の適用区分：C2：50点 C1：50点 B2：25点 |
| 薬学部 | 薬学科 薬科学科 | 最終選考において、下表の基準に基づいて加点する。複数の英語外部検定試験を受検している場合は、適用区分の最も高い1項目のみを加点対象とする。 ※加点の適用区分：C2：20点 C1：15点 B2：10点 B1：5点 |
| 工学部 | 第一類 (機械システム工学系) | 選考において、下表の基準に基づいて加点する。複数の英語外部検定試験を受検している場合は、適用区分の最も高い1項目のみを加点対象とする。 ※加点の適用区分：C2：20点 C1：20点 B2：10点 B1：5点 |
| | 第二類 (電気・電子・システム・情報系) | 選考において、下表の基準に基づいて、出願書類に満点の100点を超えない範囲で最大10点加点する。複数の英語外部検定試験を受検している場合は、適用区分の最も高い1項目のみを加点対象とする。 ※加点の適用区分：C2：10点 C1：10点 B2：10点 B1：5点 |
| | 第三類 (化学・バイオ・プロセス系) | 選考において、下表の基準に基づいて加点する。複数の英語外部検定試験を受検している場合は、適用区分の最も高い1項目のみを加点対象とする。 ※加点の適用区分：C2：10点 C1：10点 B2：10点 B1：10点 |
| | 第四類 (建設・環境系) | 選考において、下表の基準に基づいて加点する。複数の英語外部検定試験を受検している場合は、適用区分の最も高い1項目のみを加点対象とする。 ※加点の適用区分：C2：20点 C1：20点 B2：20点 |
| 生物生産学部 | 生物生産学科 | 第1次選考において、下表の基準に基づいて加点する。複数の英語外部検定試験を受検している場合は、適用区分の最も高い1項目のみを加点対象とする。 ※加点の適用区分：C2：10点 C1：10点 B2：6点 B1：2点 |

■合否判定の際に評価する方法

| 学部 | 学科・類等 | 利用方法 | 利用に必要な 適用区分 |
|-------|---------------|---|----------------|
| 総合科学部 | 総合科学科 | 第1次選考及び最終選考において、出願書類の段階評価に反映させる。 | B1以上 |
| 文学部 | 人文学科 | 第1次選考の自己推薦書の段階評価（A, B, C, Dの4段階評価）に反映させる。 | B1以上 |
| 法学部 | 法学科 夜間主コース | 選考において、小論文（200点満点）、面接（200点満点）の得点及び大学入試センター試験の結果と併せて評価する。 | B1以上 |
| 理学部 | 生物科学科 | 【一般型】 第1次選考及び最終選考において、出願書類の段階評価に反映させる。 【科学オリンピック利用型】 選考において、出願書類の段階評価に反映させる。 | 適用区分は問わない |

【英語外部検定試験等級又はスコア等基準表】 ※各試験団体の公表資料より文部科学省において作成のもの（CEFR）を一部改変

| 種類 適用区分 | Cambridge English | 英検 (実用英語 技能検定) | GTEC CBT | IELTS™ (Academic Module) | TEAP | TOEFL iBT® | TOEFL Junior® Comprehensive | TOEIC® L&R 及び TOEIC® S&W |
|------------|----------------------|----------------------|-------------|--------------------------------|---------|---------------|-----------------------------------|---------------------------------|
| C2 | CPE (200+) | | | 8.5—9.0 | | | | |
| C1 | CAE (180~199) | 1級 | 1400 | 7.0—8.0 | 400 | 95—120 | | 1305—1390 L&R945~ S&W360~ |
| B2 | FCE (160~179) | 準1級 | 1250—1399 | 5.5—6.5 | 334—399 | 72—94 | 341—352 | 1095—1300 L&R785~ S&W310~ |
| B1 | PET (140~159) | 2級 | 1000—1249 | 4.0—5.0 | 226—333 | 42—71 | 322—340 | 790—1090 L&R550~ S&W240~ |
| A2 | KET (120~139) | 準2級 | 700—999 | 3.0 | 186—225 | | 300—321 | 385—785 L&R225~ S&W160~ |
| A1 | | 3級— 5級 | —699 | 2.0 | | | | 200—380 L&R120~ S&W80~ |

5* 総合科学部総合科学科AO入試（総合評価方式I型）における出願書類に関する特記事項について次のように変更します。

<変更前>

英検（実用英語技能検定）、TOEIC®公開テスト、TOEFL®（iBT）、IELTS TM（Academic Module）、英語以外の外国語検定試験の受検歴、各種全国規模以上の科学オリンピックやコンテスト、競技会出場歴などがある場合は、出願書類審査の際に利用しますので、成績が証明できる書類や出場歴がわかる書類を自己推薦書に添付してください。

<変更後>

英検（実用英語技能検定）、TOEIC®公開テスト、TOEFL®（iBT）、IELTS TM（Academic Module）、英語以外の外国語検定試験の受検歴、国際バカロレア資格、海外留学経験や各種全国規模以上の科学オリンピックやコンテスト、競技会出場歴などがある場合は、出願書類審査及び最終選考の際に利用しますので、成績が証明できる書類や出場歴、留学したことが分かる書類等を自己推薦書に添付してください。

6* 総合科学部総合科学科AO入試（総合評価方式I型）における合否判定基準について、次のように変更します。

<変更前>

(2) 最終選考

小論文（300点満点）と面接（300点満点）の合計点で判定します。出願書類は、面接の参考資料として用います。

<変更後>

(2) 最終選考

小論文（300点満点）、面接（300点満点）による評価及び出願書類（調査書及び自己推薦書）・添付資料を加味して総合的に判定します。

7. 教育学部第三類（言語文化教育系）国語文化系コースにおける募集人員について、次のように変更します。

<変更前>

一般入試（前期日程） 15人 AO入試（総合評価方式I型） 7人

<変更後>

一般入試（前期日程） 17人 AO入試（総合評価方式I型） 5人

8* 教育学部第三類（言語文化教育系）日本語教育系コースにおける募集人員について、次のように変更します。

<変更前>

一般入試（前期日程） 24人 AO入試（総合評価方式I型） 11人

<変更後>

一般入試（前期日程） 26人 AO入試（総合評価方式I型） 9人

9*. 経済学部経済学科昼間コース学部第3年次編入学試験（推薦・一般）における募集人員について、次のように変更します。

<変更前>

推薦 5名

一般 5名

出願資格 (1), (2) 2名

出願資格 (3)～(10) 3名

<変更後>

推薦 3名

一般 7名

出願資格 (1), (2) 2名

出願資格 (3)～(10) 5名

10*. 経済学部経済学科昼間及び夜間主コース学部第3年次編入学試験（推薦・一般）における口述試験の「実施科目等の内容」について、次のように変更します。

<変更前>

志望動機、勉学に対する意欲、経済に関する問題意識などについて質問します。

<変更後>

志望動機、勉学に対する意欲、経済に関する問題意識などについて質問します。経済学部で学ぶ上で必要な英語や数学等に関する質問も含みます。

11*. 理学部生物科学科のAO入試（総合評価方式I型）一般型及び科学オリンピック型における自己推薦書(2/2)の字数指定について、次のように変更します。

<変更前>

800字程度

<変更後>

1600字以内

12*. 理学部地球惑星システム学科のAO入試（総合評価方式I型）における入学者選抜方法に関する記述の一部を次のように変更します。

<変更前>

（注）過去2年間のどちらかで、以下の受験基準点以上の成績を収めた者は、小論文を免除します。この措置を希望する者は、出願書類の自己推薦書の代わりに地学オリンピック日本委員会の発行する個人成績証明書（原本）を提出してください。

受験基準点：

第6回日本地学オリンピック大会予選（国際大会一次選抜）360点（550点満点）

第7回日本地学オリンピック大会予選（国際大会一次選抜）360点（550点満点）

<変更後>

（注）過去3年間のいずれかで、日本地学オリンピック大会の予選試験において上位10%の成績を収めた者は、小論文を免除します。この措置を希望する者は、出願書類の自己推薦書の代わりに地学オリンピック日本委員会の発行する個人成績証明書（原本）を提出してください。

13. 医学部医学科の一般入試（前期日程）における2段階選抜の倍率を次のように変更します。

<変更前>

志願倍率が 10 倍 を超える場合には、大学入試センター試験の成績の合計点（900 点満点）により、第1段階の選抜を実施することがあります。

<変更後>

志願倍率が 8 倍 を超える場合には、大学入試センター試験の成績の合計点（900 点満点）により、第1段階の選抜を実施することがあります。

14*. 医学部医学科のAO入試（総合評価方式Ⅱ型）における合否判定基準の一部を次のように変更します。

<変更前>

(1) 第1次選考

出願書類（調査書、自己推薦書及び出願要件を証明できる書類）の評価を総合して判定します（100 点満点）。ただし、出願要件のうち科学オリンピックに関連する書類①～⑥を提出した場合は、第1次選考を免除します。

<変更後>

(1) 第1次選考

出願書類（調査書、自己推薦書及び出願要件を証明できる書類）の評価を総合して判定します（100 点満点）。

15*. 医学部医学科のAO入試（総合評価方式Ⅱ型）における面接について、次のように変更します。

<変更前>

面接（1） 9:00～

面接（2） 13:00～

<変更後>

面接 9:00～ ※ 1回の面接を行う

16*. 医学部医学科における後期日程の私費外国人留学生入試について、廃止します。

17. 薬学部の薬学科・薬科学科における大学入試センター試験（一般入試、AO入試（総合評価方式Ⅱ型））及び個別学力検査（一般入試、私費外国人留学生入試）の理科選択科目について、次のように変更します。

<変更前>

大学入試センター試験：物理、化学、生物 から2

個別学力検査：物理基礎・物理、化学基礎・化学、生物基礎・生物 から2

<変更後>

大学入試センター試験：化学 を1

物理、生物 から1

個別学力検査：化学基礎・化学 を1

物理基礎・物理、生物基礎・生物 から1

18*. 薬学部の薬科学科及び薬科学科における私費外国人留学生入試について、日本留学試験の要件を次のように変更します。

<変更前>

日本留学試験の理科：物理, 化学, 生物 から2科目選択

<変更後>

日本留学試験の理科：化学 を1 物理, 生物 から1

19*. 薬学部薬科学科における募集人員について、次のように変更します。

<変更前>

一般入試（前期日程） 15人

AO入試（総合評価方式Ⅱ型） 7人

<変更後>

一般入試（前期日程） 17人

AO入試（総合評価方式Ⅱ型） 5人

20*. 工学部第一類（機械システム工学系）AO入試（総合評価方式Ⅱ型）における大学入試センター試験合格基準点について、次のように変更します。

<変更前>

大学入試センター試験で受験を要する教科・科目の得点の合計が、概ね合格基準点（390点以上）であること。

<変更後>

大学入試センター試験で受験を要する教科・科目の得点の合計が、概ね合格基準点（420点以上）であること。

※ 平成29年度入試の詳細は、平成28年6月に公表の「入学者選抜に関する要項」「AO入試学生募集要項」「私費外国人留学生入試学生募集要項」、9月公表の「医学部医学科推薦入試（ふるさと枠）学生募集要項」及び11月公表の「一般入試学生募集要項」等で確認してください。

インターネット出願で広島大学へ

本学は、国立大学における初の取組みとして平成27年度学部入試（平成26年度実施）からインターネット出願を導入しました。平成29年度入試（平成28年度実施）からは紙の願書を廃止し、インターネットでのみ出願受付します。

インターネット出願は、志願者にとって以下のようなメリットがあります。

1. 学生募集要項（願書）の取寄せが不要になり、24時間出願可能に出願にかかる時間的、金銭的な負担を軽減
2. クレジットカードやコンビニエンスストアで検定料の支払いが可能に
金融機関窓口での支払いによる時間的な制約を解消
3. 出願書類の作成がより簡単に
システムによるチェック機能でミスや記入漏れを防止

広島大学入試の主な変更点（概要）

『AO入試・一般入試』

【平成30年度入試】

1* 総合科学部総合科学科一般入試（後期日程）における入学者選抜方法について、次のように変更します。

<変更前>

文科系と理科系に分けて試験を行う。

<変更後>

文科系と理科系を分けずに試験を行う。

2* 総合科学部総合科学科一般入試（後期日程）における大学入試センター試験の利用科目・配点及び個別学力検査等の実施科目・配点について、次のように変更します。

- ① 文科系と理科系を分けずに試験を実施する。
- ② 個別学力検査等の実施科目は、面接のみを行う。

【実施教科・科目及び配点等】

| 学科等 | 区分・日程 | 大学入試センター試験の利用教科・科目名 | | 個別学力検査等 | | 大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等 | | | | | | | | | | |
|-------|----------------|--------------------------------|---------------------|------------|------|------------------------|---------------|-------|-----|-----|-----|-----|------|------|-----|------|
| | | 教科 | 科目名等 | 種等 | 科目名等 | 試験の区分 | 国語 | 地歴・公民 | 数学 | 理科 | 外国語 | 小論文 | 面接 | 配点合計 | | |
| 総合科学科 | 後期 | 国 | 国 | を1 | その他 | 面接 | センター試験 (注) | ① | 200 | 200 | 500 | 100 | 500 | | | 1500 |
| | | 地歴・公民 (注) | 世B, 日B, 地理B, | から1 又は2 | | | | ② | 200 | 200 | 500 | 100 | 500 | | | 1500 |
| | | | 倫・政経 | | | | | ③ | 200 | 100 | 500 | 200 | 500 | | | 1500 |
| | | 教 | 数I・数A | を1 | | | 個別学力検査等 | | | | | | | | 200 | 200 |
| | 数II・数B, 簿情報 | から1 | | | | | | | | | | | | | | |
| | 理 (注) | 物基, 化基, 生基, 地学基 | から2 又は から1又は2 | 計 | ① | 200 | 200 | 500 | 100 | 500 | 500 | 200 | 1700 | | | |
| | 物, 化, 生, 地学 | から1 | ② | | | | | | | | | | | 200 | 200 | 500 |
| | 外 | 英, 独, 仏, 中, 韓 (5又は6教科又は3科目) | から1 | | ③ | 200 | 100 | 500 | 200 | 500 | | | | | | |

(注) 後期日程における大学入試センター試験の地歴・公民及び理科は、次の3パターンのいずれかで最も高得点となる組合せを採用します。

- ① 地歴及び公民については表中の4科目から2科目と、理科については物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎から2科目
- ② 地歴及び公民については表中の4科目から2科目と、理科については物理、化学、生物、地学から1科目
- ③ 地歴及び公民については表中の4科目から1科目と、理科については物理、化学、生物、地学から2科目

3*. 総合科学部総合科学科AO入試（対象別評価方式・帰国生入試）について、入学者選抜方法を次のように変更します。

<変更前>

合否判定の基準

小論文(300点満点)と面接(200点満点)の合計点に高等学校での成績等を加味して総合的に判定します。

<変更後>

実施科目等の内容

(第1次選考)

出願書類(成績証明書もしくは調査書及び志望の動機)

合否判定の基準

小論文(300点満点)と面接(200点満点)を行い、出願書類(高等学校等の成績証明書もしくは調査書及び志望の動機)・添付資料を加味して総合的に判定します。

4*. 総合科学部総合科学科AO入試（対象別評価方式・帰国生入試）について、出願書類に関する特記事項を次のように追記します。

<出願書類に関する特記事項>

英検(実用英語技能検定)、TOEIC®公開テスト、TOEFL®(iBT)、IELTS TM(Academic Module)、英語以外の外国語検定試験の受検歴、国際バカロレア資格、海外留学経験や各種全国規模以上の科学オリンピックやコンテスト、競技会出場歴などがある場合は、出願書類審査及び最終選考の際に利用しますので、成績が証明できる書類や出場歴、留学したことが分かる書類等を自己推薦書に添付してください。

5*. 教育学部第四類健康スポーツ系コースの一般入試(前期日程)及び私費外国人留学生入試(前期日程)における実技試験実施内容について、次のように変更します。

<変更前>

次の①から1種目、②から2種目、③から1種目を選択して受験してください。

①器械運動、陸上競技、水泳

②バレーボール、バスケットボール、サッカー、テニス(ソフトテニスを除く)

③柔道、剣道、ダンス

<変更後>

文部科学省新体力テスト(12歳~19歳対象)に基づく基礎運動能力試験を実施します。

どの項目の試験を実施するかは当日指定します。

6*. 教育学部第四類健康スポーツ系コースの一般入試(後期日程)及び私費外国人留学生入試(後期日程)における実技試験実施内容について、次のように変更します。

<変更前>

次のうちから1種目のみ選択して受験してください。

陸上競技、バレーボール、バスケットボール、サッカー、柔道、剣道、ダンス、水泳

<変更後>

次のうちから1種目のみ選択して受験してください。

陸上競技、バスケットボール、サッカー、柔道、剣道

7*. 教育学部第四類健康スポーツ系コースのAO入試（総合評価方式I型）における実技試験実施内容について、次のように変更します。

<変更前>

陸上競技, バレーボール, バasketボール, サッカー, 柔道, 剣道, ダンス, 水泳からもっとも得意なもの1種目を選択して受験してください。

<変更後>

陸上競技, バasketボール, サッカー, 柔道, 剣道, からもっとも得意なもの1種目を選択して受験してください。

8*. 理学部化学科AO入試（総合評価方式I型）について、英語外部検定試験を利用する選抜方法を導入します。